



おもちゃ箱ふれあいの丘 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公開日：2021年 11月末日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・人員・運営体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	●			児童発達と放課後デイが一緒になる時間帯や長期休み中に一緒に居る空間は窮屈を感じる
	②	職員の配置数は適切であるか	●			送迎に出るスタッフが時間が重なると室内にいるスタッフが一人の時間帯があるのでヒヤヒヤする
	③	職員の資質向上の為、内部研修の実施や外部研修の積極的な利用を促しているか	●			コロナの状況が落ち着けば外部から専門講師を招くなど研修の質の向上を図りたい
	④	事業所の設備等について、スロープや手すりなど利用者の身体特性に合わせ適切な配慮がなされているか	●			施設環境を確認して頂いた上で階段歩行が難しい場合はご相談を受けることができないというのが現状
	⑤	児童の支援に最適な設備及び備品が整っているか	●			
業務改善	⑥	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	●			
	⑦	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	●			
	⑧	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●			
	⑨	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		●		
	⑩	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●			
適切な支援の提供	⑪	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			
	⑫	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	●			
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	●			定例研修、会議でも積極的に検討案を取り上げたい
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●			担当制になっている
	⑮	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	●			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●			

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●			その日すぐには行っていないが、日報や共有ノートを使ってスタッフ間で共有している
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	●			
	㉑	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	●			
関係機関や保護者との連携	㉒	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●			現在、担当者会議が行われた事例がない
	㉓	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	●			
	㉔	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		●		現在、該当者なし
	㉕	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	●			直接情報共有はしていないが保護者を通して共有している。
	㉖	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	●			
	㉗	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	●			必要に応じて、主に電話での支援状況の共有を行っている
	㉘	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	●			ログハウスなどの課外活動の際、施設環境を共有する等関わっている。
	㉙	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	●			児発管が主に行っている
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●			
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		●		今後、研修にて『ペアレント・トレーニング』に関する事項も取り上げ理解を深めたい
保護者への	㉜	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●			
	㉝	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●			
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		●		コロナ禍の状況で、動画を通じての重要事項の共有に留まっている。今年度は保護者会を開催
	㉟	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●			

説明責任等	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●			
	③⑦	個人情報に十分注意しているか	●			
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●			
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			●	現状、ごく近隣の地域住民との避難訓練関連の重要事項の共有に留まっている
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	●			R3年度は対面での保護者会を開催できなかった為、動画にて重要事項の共有を行った
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●			
	④⑫	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●			毎年度、『虐待防止研修』を開催している
	④⑬	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	●			今年度、『身体拘束適正化の為の指針』について取り上げ、HPでの公開を行った。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	●			
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	●			月一の研修にてヒヤリハット事項の共有を行い、対策を確認している

【改善に向けての議題】

- ・コロナ禍で中止となった対面での保護者会の開催を実現したい。
- ・アンケート結果に基づいた新たなプログラムの立案や再編への検討を会議でも取り上げスタッフ間で協議する。
- ・ご家族共に参加出来る夏のイベントもコロナ感染拡大の状況を見極めつつ、開催復帰を目指し準備を行う。可能であれば、このイベントを通して民との交流を図る企画を取り上げ地域との関係性を深めたい。